

景信山・城山 山行報告

【山 域】中央本線沿線

【ルート】景信山～城山

【登山方法】ハイキング

【日程と天気】2019年10月27日(日) 曇り時々晴れ

【メンバー】CL 柘植、SL 大木、安岡、飯田、清野(記録)

【行 程】 JR 相模湖駅 8:40→子孫山の頭 9:50→明王峠 11:00→景信山 12:20→城山 13:40
→薬王院 15:00→リフト(山上駅)15:30→リフト(山麓駅)15:45→JR 高尾駅 16:40



【内容】

当初、当日は奈良倉山山行の予定で JR 上野原駅まで行く計画だったので、高尾駅で中央本線に乗り換えた。しかし2日前の大雨の影響で中央本線のダイヤが変更になっていたため、急遽車中で山行先を変更せざるを得なくなった。相模湖駅止まりの電車に乗ったため、相模湖駅から行けるところを地図を広げながら探した。CL 柘植さんの提案で、景信山から城山のコースを選ぶことにした。

相模湖駅から西に向かい、JR 中央本線と中央高速を跨ぐ陸橋を渡った先に慈眼寺が見えてきた。慈眼寺を右目に過ぎると与瀬神社の参道に変わった。山門をくぐって勾配の急な長い階段を登っていくと、与瀬神社の境内に入った。境内の脇から登山道が始まった。鬱蒼とした樹林帯の中の細かなジグザグ道を20分程登ると、南面が開けている場所があった。そこからは増水し茶色く濁った湖面の相模湖と、堂々とした石老山の山なみを見渡すことが出来た。しばらく歩きづらい木道の階段をジグザグ行くと、明るく歩きやすい尾根道になった。コウヤボウキ、ヤマシロギク、シロヤマギク、シロヨメナなどの花が咲いていた。道からそれて子孫山の頭に登ってみたが、樹林に囲まれ展望はなかった。



もと来た道に戻ってしばらくアップダウンの少ない穏やかな道を行くと、大平という標識の立っている東屋とベンチが供えられた開けた場所があったので休憩した。しばらくして林道を横切り、急な登りの途中にあるたくさんの石の積まれた石投げ地蔵を過ぎていった。長い急な登りの木段の先に明王峠があった。明王峠の茶屋は閉まっていた。ここまで来るのに、できたばかりらしい登山道の崩壊している所が2か所あったので慎重に通過してきた。



大平のベンチで休憩



林道を横切ると整備された登山道



明王峠の茶屋（休業中）



明王峠から景信山への幅広い尾根道

明王峠から先はトレイルランの人とよく出会うようになった。アキノキリンソウ、ヤクシソウ、ノコンギクが見られるようになってきた。堂所山は巻き、気持ちの良い登山道をアップダウンを繰り返しながら進み、景信山に着いた。景信山にはトイレがあった。おいしいなめこ汁を飲みながら昼食をとった。



都心方面の展望が広がる景信山の山頂



女性陣はなめこ汁でご満悦

景信山から小下沢、小仏峠より小仏バス停方面は通行止めになっていた。小仏峠まで下り、城山へ登って行った。城山から高尾山方面に進んでいった。一丁平の展望台からは、かすんではいたが、丹沢の山々を望むことができた。ここから紅葉台あたりまでは足元に白いセンブリの花がたくさん咲いていた。高尾山山頂は巻いて、薬王院方面へ降りていった。観光客や登山者で賑わっていた。薬王院下の売店で葡萄酢ソフトクリームを購入した。食べながら歩いていき、リフト乗り場の前を通ったので、リフトに乗ることにした。12分の乗車時間であったが、歩いて下山するのより1時間ぐらい短縮できた。



賑わう高尾山薬王院



リフトでらくちん下山

ここから JR 高尾駅まで 40 分程歩いた。途中ポツポツ雨が降ってきたがすぐに止んだ。駅につくとトイレタイムをとって直に東京行きの特快に乗車することができた。

今回は電車に乗りながらの突然の行先変更であったが、2 日前大雨が降り、関東のあちこちで大きな被害があったので、想定内であった。暑くなく、寒くなく、風もなく、気温も天候も山登りにはちょうどよい日であった。紅葉にはまだ早かったが、秋の花をめぐることができた。このところ、雨や台風で登山中止が続いて身体がなまっていたので、いいトレーニングになった。5 人でゆったりと山行ができて楽しかった。

清野(記)